

## 2020年1月20日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- 中東の騒乱と発展するイスラエル情勢から見えてくるもの -

<https://youtu.be/Suejm0ccils>

シャローム、皆さん。フィリピンのマニラより、アミール・ツアルファティです。

昨夜、ついにミンダナオ島からマニラに戻りました。ここマニラでの週と、その後ダバオでの週末に、何千もの人たちがカンファレンスに来てくださいました。私は8つの新しいメッセージを伝えました。どれも新しいメッセージで、編集するとすぐにYouTubeに投稿する予定です。あとでDVDにしますので、ご希望の方は私たちのウェブサイトからご購入いただけます。もちろん私たちのYouTubeチャンネルでご覧頂ければ無料です。また、お伝えしたいのは、マニラの教会とマニラの大学の両方、ミンダナオ島南部で行ったカンファレンスも同様に、多くの人々がキリストを信じ、彼らの人生を再び捧げました。これはおそらく、このミニストリーツアーのハイライトでした。私たちは、そのことにとても感謝しています。

また、皆さんに非常にエキサイティングなニュースがあります。2月29日にマイアミで、「Awaiting Return」カンファレンスを行います。登録は、すでに当社のウェブサイト上で受け付けています。会場はウェイサイド・バプテスト教会で、おそらく1500席ぐらいしかありません。もう半分近くがいっぱいです。フロリダ、またお近くにお住まいで、参加ご希望の方は、バリー・スタグナー牧師、私自身、カルバリーチャペル・マイアミのラズ・バスケス牧師、私たち全員がメッセージをします。マイアミで2月29日です。カナダのバンクーバーの皆さん、次はそちらです。ジャン・マーケル、バリー・スタグナー、そして私で、「Awaiting His Return」カンファレンスを行います。5月23日です。ホームページでも登録受付中です。そして偉大な州、テキサス州ダラス/フォートワース地域の皆さん、新たに「Awaiting His Return」カンファレンスを、Glad Tidings Churchで行います。すみません、Glad Tidings Churchはバンクーバーです。フォートワースの教会は別の教会で、登録はまだ受け付けていませんが、すぐに開始します。5月30日です。

さて、多くの人からお問い合わせをいただきます。「アミール、あなたのイスラエルツアーに、いくつか席が残っていますか？」イスラエルのツアーに少々空きがあるだけでなく、ギリシャのクルーズにも、いくつか空きがあります。「パウロの軌跡」を教えながら、ギリシャとトルコ、エペソを含む島々に行く予定です。空きがいくつか残っています。そして、もちろん「ヤングアダルトツアー」。初回か、もしくは第2回目のヤングアダルトツアーから、最初の結婚したカップルが出たと聞きました。それは素晴らしいことです。ヤングアダルトツアーから、6、7組のカップルが生まれています。しかし、これ自体（ツアー）が、人生を変える経験でもあります。約30の空きが残っているので、ぜひお申し込みください。

11月の同窓会ツアーには、ダブルルームが6室。シングルルームが2室残っています。このツアーでは、異なる新しい場所を訪れます。また、これは11月なので、エルサレムでの「Awaiting His Return」聖書預言カンファレンスが含まれます。感謝祭の日に計画しています。このように盛りだくさんです。参加ご希望の方は、[tours@BeholdIsrael.org](mailto:tours@BeholdIsrael.org)まで、ご連絡ください。

では、中東のアップデートに入りましょう。ここ数日で、たくさんことが起こっています。まず第一に、もちろん数時間前のイエメンへの弾道ミサイルとドローン攻撃です。そして、イエメンの大統領が軍に話したことについてお伝えします。彼は嚴重に計画し、戦闘準備の必要があると言いました。これはイランの支援を受けたフーシ派の反乱軍が、80人以上の兵士を殺した後のことです。それは「マリブ」と呼ばれるイエメンの軍事キャンプで起きました。彼らは倉庫とモスクを攻撃し、死んだ人のほとんどはスンニ派イスラム教徒の兵士でした。彼らはモスクの中において、祈っていたのです。皆さん、シーア派のイスラム教徒は、ロケット弾とドローンを発射し、モスクの中で祈っているスンニ派のイスラム教徒を攻撃したのです。そのうち80人以上が死亡。数百人が負傷し、重傷を負いました。これは状況のエスカレートです。その理由を

説明しましょう。これはソレイマニ殺害に対する、容易な復讐のようなものです。彼らはソレイマニを殺すために、米国とスンニ派の陰謀があったと信じているのです。だから、「オレたちは自分の役割を果たして、自分たちにできる簡単な目標を攻撃しよう！」と。間違いなく、イランの支援を受けた民兵の仕業です。死傷者によって、どういう報復がなされるか、いずれ分かります。イエメン人の兵士だけなら、たぶんサウジは何もする必要はないと思いますが、しかし通常、その基地にいるのはスーダンとサウジアラビアの兵士です。となると話は別で、我々は完全に異なる何かを見るかもしれません。ということでイエメンは燃えていて、そしてフーシ派は物事をエスカレートさせています。彼らの最高司令官のせいで。皆さん、理解する必要があります。カセム・ソレイマニ将軍は、中東全域でイランの支援を受けた民兵の最高司令官でした。レバノン、シリア、イラク、もちろんイエメンであろうと、そしてもちろん、ガザンのテロ組織もソレイマニに忠誠を誓っていたのです。しかし彼が死んだら、空洞ができました。非常に興味深いことです。

ひとつ皆さんにお知らせしたいのは、リトアニアの大統領が口を滑らせます。ソレイマニの殺害後、イラク国内の米軍基地をイランが攻撃した夜、リトアニアの報道機関が、自分たちの大統領に尋ねました。

「バグダッド北部のアル・アサド収容所にいる8人の兵士は、どうなったのですか？」

彼は言いました。

「攻撃の3時間前に通知を受け取って、私たちは防空壕に入り、みんな無事です」

ですから、彼は知らずに基本的に口を滑らせて、全世界に話したのです。アメリカは、少なくとも3時間前にイランの攻撃を知っていた。そしてロケット弾が落下している間、全てのアメリカ兵は安全な避難所、安全な要塞にいました。数人の兵士は爆発と振動のために脳震盪（のうしんとう）を起し、中には、脳震盪の治療のためにドイツに運ばれました。しかし、それらのロケット弾攻撃の直接的な結果として、彼らが苦しんだ物理的なものは何もありません。

また、スイスは・・・信じ難いかもしれませんが、イランとアメリカのエスカレーションの停止に重要な役割を果たしました。バグダッドのスイス大使館が米国からファックスを受け取り、

“アル・アサド基地に対するこの攻撃の後、もしイランが(攻撃を)止めるなら、米国は報復しない。けが人もなく、死者もないので、我々はそれを封じ込めることができる。死傷者は出ておらず、全てがうまく行くだろう。”

イランに連絡を取り、それを彼らに伝えたのはスイスです。アメリカ人が殺されないように報復するなら、これ以上のエスカレーションはないだろう。アメリカは反撃しない。これが基本的に、大きな戦争を避けた方法です。そして半日も経たないうちに、全てが正常に戻りました。

もうひとつの興味深いことは、イランは今日、米国の旗を印刷するのに大忙しです。米国の旗、米国およびイスラエルの旗を生産、製造しています。聞いてください。それは驚くべきことです。彼らは、通りや階段、建物、近所への入り口、それらのすべてに、現在、米国とイスラエルの旗のステッカーを貼っているのです。地元の人々にそれらの旗を踏みつけさせ、侮辱するために。そうすることによって、“大きいサタン”であるアメリカと“小さいサタン”であるイスラエルに対する彼らの軽蔑、怒りと憎しみを示します。しかしイランのお金がアメリカとイスラエルの旗を印刷するために使われているとは、非常に興味深いと思います。面白いと思うのは、先週、皆さんにお見せしましたが、最終的にそれがインターネットに出回るので、イランの人たちは、それらの旗の上を歩くのを好まず、彼らはそれを避け、迂回しています。彼らは、できることは何でもやっていて、旗の上を歩いている人には、だれに対しても「ベシャラフ、ベシャラフ」と叫んでいます。これは、「恥知らず」という意味です。それは恥ずべきことであり、尊敬も何もない！と。イランの人たちは、彼らの敵はもちろんアメリカではなく、確かにイスラエルではないことを理解しています。ソレイマニのポスターが燃やされているのも面白いです。デモ隊は、もはや「ハーメネイに死を！」「ロウハニーに死を！」「我々の敵は我々自身の政権である！」と叫ぶのを恐れていません。皆さん、これは興味深いことで、イランは内側からの崩壊を非常に恐れていることを理解する必要があります。覚えていますか？ハーメネイは外からの攻撃ではなく、内側からの崩壊で権力を握ったのです。ソレイマニが死んだ今、人々はチャンスがあることを理解しているのです。大きな反乱が、この政権の崩壊をもたらすかもしれないと。この政権の最も効果的なことのひとつは、彼らが“バシジ”と呼ぶもので、何十万人もの人々を募集したことです。バシジは、いわば潜入情報提供者。民間人について報告している警官です。それは、たぶん政権に対して活動していて、秩序を保っています。バシジの人々は、もちろん、他の人が持っていない特権を享受していました。彼らは政権によって好待遇を受けていました。これらの情報提供者が、通りで起こっていることをだ

れよりもよく知っていることは、皆が理解していましたから。さて、ここ数日で、私たちはバシジ情報提供者の新しい傾向を見ています。彼らは、自分たちの“バシジIDカード”を次々に燃やしているのです。もちろん名前は表示されませんが、実際にそれらのIDカードを燃やしているのです。そして、これらのIDカードは、基本的に彼らとそのメンバーであることを知る方法です。言い換えれば、一度燃やすと、もはやメンバーではありません。これは非常に驚くべきことです。一方で、イランの人たちは、アメリカとイスラエルの旗を踏みながら、一方で、政権の情報提供者と思われるイランの人たちが、次々とIDカードを燃やしているのです。ですから、内側からの崩壊は、すでに始まっています。ソレイマニの死は、このような驚くべき興奮、新しい精神をもたらしました。イラン全土のデモ隊に新たな追い風です。ソレイマニの死、ソレイマニの余波も、信じられないほどの反政権抗議を復活させたと言えるかもしれません。バグダッドやイラクの他の都市の通り、そしてベイルート、レバノンの通りで。

レバノンは昨夜、彼らの政府と彼らが関わっている汚職に対する抗議が始まって以来、最も血まみれの夜のひとつでした。批判の多くは、実際にはイランの代理人であるヒズボラに向けられています。昨夜の時点で400人近くが負傷したと言えるでしょう。これはレバノンです。人口が少なく、小さな国のレバノンで、一回のデモ、一晩で400人の負傷者です。軍は通りに兵士を連れて来ました。面白いのは、彼らがRPG（携帯式ロケット弾）を運び始めたことです。そして、そのことでレバノン政府をあざ笑っているアニメーションの波をもたらしました。RPGランチャー（携帯式ロケット弾）を持つ兵士は、民間のデモ隊に何をしますか？そこで彼らは、漫画を新聞に載せ始めたのです。ベイルートの通りで弾道ミサイルやいくつかの核弾頭ミサイルを見せて、そして彼らは基本的に、ベイルートの政権の過剰反応を笑っています。

皆さん、中東は燃えに燃えています。しかし、イスラエルは正気の島です。私がこれを言うのは、アメリカの副大統領、ロシアの大統領、それとドイツ、スペイン、イタリア、そのほか多くの国々を含む45の他の世界の指導者が、イスラエルを除く、今の中東の他の国に来て安心できるとは思いません。そして、それはまさに、この数日に起こる事です。我々は祝ってはいませんが、我々は連合軍によるアウシュビッツ解放75周年を記念しています。これはイスラエルがこれまでに主催した最大のイベントのひとつです。数十人の世界の指導者が、文字通り世界中からテルアビブに出入りし、着陸します。そして、彼ら全員が、エルサレムのホロコースト記念碑「ヤド・ヴァシェム」で素晴らしい式典に参加します。しかし皆さんも私も理解しているのは、イスラエル、エルサレムに、このような世界の指導者をもたらす能力、アメリカ合衆国によって、イスラエルの首都であると認識されたエルサレム、これは非常に驚くべきことです。皆さん、イスラエルは安定の島、正気の島であり、繁栄の島であることを伝えたいと思います。我々の経済は成長を続けており、地中海から天然ガスを採掘し始めたばかりで、ヨルダンだけでなく、正式に、レビヤタン海洋ガス田からエジプトに天然ガスを輸出し始めました。皆さん、ヨルダン、エジプトは1948年と1967年、イスラエルを破壊したかったのです。それが2020年の今、彼らはイスラエルのガスの巨大な顧客です。わかりますか？周りが私たちに破壊しようとした詩篇83編から、だれもがイスラエルの繁栄を見るエゼキエル38章に完全に移行したのです。私たちは安全で安心して繁栄しています。だからこそ敵はレバノンではなく、シリアでもなく、エジプトでもない。第一層の敵であるこれらの国々は、もはやイスラエルにとって脅威ではありません。第二層、トルコとイラン、ロシア、リビア、スーダン、私たちが話している、今、イスラエルに敵対して来るのは、これらの国です。そして、そのすべては、主に金融戦争、経済に関する戦争で、彼らは略奪し、盗み、略奪品を取るために来ます。だからこそサウジアラビアは抗議し、ヨーロッパは抗議するのです。エゼキエルのタルシシュの若い獅子がアメリカであるなら、アメリカでさえそうです。

**シェバやデダンやタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たちは、あなたに聞こう。『あなたは物を分捕るために来たのか。獲物をかすめ奪うために集団を集め、銀や金を運び去り、家畜や財産を取り、大いに略奪をしようとするのか』と。（エゼキエル38章13節）**

彼らは皆、イスラエルへの攻撃に抗議します。しかし、もちろんマゴグの君主ゴグの手からイスラエルとその民を救うのは、神だけです。そして、もちろんゴメル、トガルマ、ペルシャ、そしてもちろん、クシュとプテからも。これは聖書の中の古代名で、もちろん、ロシア、そしてもちろん、主にトルコとイラン、スーダンとリビアです。

トルコといえば、エルドアンは数百人ものスンニ派シリアの反政府勢力を送り込み、現在、トルコを通じてシリアを出ています。そして今、彼らはリビアになだれ込んでいます。そこに彼の足がかりを持つためです。そして、彼がリビアを彼の拠点にして、イスラエルとキプロスからのガスが、ギリシャと西ヨーロッパまで流れるのを阻止する同盟を作り出すことができるように。エルドアンは宗教的な理由でイスラエルを憎んでいます。彼は今激怒していて、経済的な理由でイスラエルを攻撃しようとしています。経済的な理由。それはもちろん、彼が天然ガスも石油も見つけていないという彼の欲求不満です。しかしイスラエルはいまや、世界の超資源大国のひとつにランクインしています。そして、これは興味深いです。我々は今、これまでに見たことがないものを見ているのです。そして、イスラエルが国際的に非常に良い位置にいる間に、これらすべてのことが起こっていて、イスラエルを攻撃しようとしている同盟が批判される理由が分かります。もちろん、イスラエルによってではありません。イスラエルは攻撃されます。しかしサウジアラビアや湾岸諸国、ヨーロッパ、そしてたぶんアメリカのような国々によって。これは、私たち全員が注意を払わなければならない、非常に驚くべきことです。

さて、イランの航空機撃墜について、少し話させてください。まず第一に、ロシアは今週、「イランは圧力を感じたのだ」と言いました。「アメリカが国境にいくつかのフライトを持っていたので、彼らは発砲した」と。もしそうだとしたら、今や、プレッシャーを感じれば、だれでもそうするのでしょうか？2発のミサイルを発射して、民間旅客機を撃墜しますか？皆さん、言うておきますが、私がイランのフライトレーダーを見ていたら、地図上の大きな部分は、ほとんど飛行機がありません。イラン上空を飛んでいる唯一の飛行機は、実際にはイランの旅客機、それだけです。イランの同盟国であるカタール航空でさえ、2003年に始まったばかりの航空会社だったと思いますが…。言うておきますが…。カタール航空…。すみません、1993年です。230の最先端の航空機を持っている航空会社です。彼らは、かつてサウジアラビア上空を飛んでいたもので、イランの上空を飛んだことがありませんでした。これはより簡単、かつ迅速で短いルートです。しかし、もちろんサウジアラビアとカタールの間で大きな亀裂が起こった2017年以来…。ところで、カタールは、サウジアラビアが土地を切り取り、カタールへ入る入り口に壁を構築したので、カタールへの地上アクセスを持っていません。それで今、カタールに行く唯一の方法は空を介してのみです。カタール航空は世界有数の航空会社で、彼らの230機の飛行機は全てサウジアラビア上空を飛ぶことができないので、イラン上空を飛んでいます。それがなんと、イランは現在、1便につき1000ドル（約11万円）近くを失っているのです。航空会社は、どの国にも空域を横断するためだけに、飛行ごとに約800ドル（約8万7千円）を支払わなければならないのです。したがって、一日に1000便が国の上空を飛行している場合、1日に80万ドル（約8744万円）です。それをかけ算すると、イランにとって3億5000万ドル以上（約54億6500万円）が、ここで失われていることが分かるでしょう。カタールを含むだれも、彼ら（イラン）の上を飛びたくないから。今、カタールはイラクの上空を飛び、その後、トルコ上空を飛んでいます。しかしイラクにとっては、イランの支援を受けた民兵のひとりがロケット弾を発射して飛行機を撃墜しただけで、トルコに何が起こるか。神のみぞ知る、です。あちらは非常に不安定ですから。彼らはつい先日、世界最大の空港のひとつを開設しました。私はそこに行ったことがあります。とても美しいです。エルドアンは、まだその空港を命名していないと思います。なぜなら、彼は自分の名前をつけたいからです。非常に興味深いことに、イスタンブールにはすでに2つの空港があるのです。古い空港は、アタテュルク空港。それと、あそこの女性パイロットにちなんで命名された別のもの。そして3つ目は、もちろんイスタンブールの空港です。ちなみに3つ目は、「サビハ・ギョクチェン」と呼ばれています。彼女は、あちらで初の女性戦闘機パイロットでした。そして、これらの空港は今では古いと考えられ、数ヶ月前に開かれたばかりの新しい空港は美しく、大きいです。そして、たぶんエルドアンは、自分自身の名前をつけるでしょう。しかしひとつ確かなのは、「エルドアン」もまた、飛行するには安定した場所ではありません。だから私は、それらの旅客機の多くが、実際にイスラエルの上空を飛ばなければならない日が来ている、と考えています。そしてイスラエルは、財政的にも政治的にも恩恵を受けるでしょう。このように多くの目がイスラエルに注目していて、私たちの周りで起こっている全ての利益を見えています。だから民間旅客機を撃墜することで、実際にドミノ効果（ドミノ効果：ひとつのことが起こる事で、それに続いて他のことが次々と起こる効果のこと）を引き起こす可能性があることを理解してください。それは何らかの形で、中東各地の国々の経済に影響を及ぼすでしょう。そしてイスラエルは、それから利益を得るのみです。私たちは、ただ私たち自身の空港の周辺に危険がないようにする必

要があります。そのために、我々は西岸地区のパレスチナに土地を与えるべきではないのです。ベン・グリオン空港から、文字通り、数マイル離れたところ。そして、エトム山の上に外国やテロリストの存在を決して許してはならないのです。紅海に向かって下るアラバ、ティムナの新しい空港。

素晴らしいことを耳にしています。私が最もよく聞かれる質問のひとつ、私がオンラインでよく尋ねられることは…。ところで、ソレイマニの余波に関するシンガポールからのアップデートは、視聴数が140万回を超えました。Instagram、フェイスブック、YouTubeの両方で、多くの人々、新しい人が今、私たちに参加しています。彼らの多くは、ニュースの背後にある聖書のメッセージを聞いたことがありません。そして、彼らが最も頻繁に訪ねている質問のひとつは、次の通りです。

「あなたはいつも携挙について話し、エゼキエルの戦争について、いつも話していますが、その時を私たちに教えてください。あなたはいつも中東における神の次の動きについて話していますが、これらすべては、いつ起こるのですか？」

さて、私が時を知っているのは、明らかに聖書にあるからです。そして明らかに皆さん全員が、その時を知ることができます。神について知っておくべきことのひとつは、神が何事にも時を定めておられる、ということです。さて、神が私たちに知ることを許しておられるものと、神が知らせていないものがある、私がおもうに、信者が持つことができる最大の美德のひとつは、主を待つことです。待つこと。私たちがそれを理解することは非常に重要です。これは、私のカリフォルニアでのカンファレンスのメッセージで、それについて話す予定です。我々が、そのすべてを理解することは、非常に重要です。預言者ハバククは2章3節で言いました。

**この幻は、なお、定めの時のためである。それは終わりについて告げ、まやかしを言ってはいない。もしおそくなくても、それを待て。それは必ず来る。遅れることはない。(ハバクク2章3節)**

ですから、忘れてはいけません。主を待つことは美德です。それは美しいものです。そして、ひとつ確かなことは、だれもが嘘をつきます。政治家は嘘をつく。人は嘘をつく。私はイスラエルの選挙運動を見ていて、皆が皆をだますのを見ています。しかし、神は決して嘘をつきません。イエスの名前のひとつは、「真理」です。そして、聖書は嘘をつかないと言います。そして、イスラエルの人々がキリストの時代に持っていた別の希望を思い出してください。何世代にもわたって、彼らは救世主が来るのを待っていました。ユダヤ人に対するメシアへの期待は、非常に多くの人々に知られています。皆さん、心の中で思い浮かべてみてください。赤ん坊のイエスが生まれ、そして彼自身の両親は、彼が本当に誰であるか、彼が本当に何者であるか理解さえしていません。しかし、その後、もちろんルカ2章25節は告げています。

**そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルの慰められることを待ち望んでいた。(ルカ2章25節)**

彼は、慰めが来ようとしていることを知っていました。彼は、神が動こうとされていることを知っていました。彼は聖書の約束を信じていたので、知っていたのです。そういうわけで、彼は知っていた。彼は信頼していたのです。また、彼は老人でした。そして、聖書は告げています。

**聖霊が彼の上にとどまっておられた。(ルカ2章25節)**

当時、もちろん、まだ彼の「中に」ではなく、「上に」。教会は、イエスが去った後に生まれたのです。教会は聖霊を受け、それが私たちの中に封印されました。しかし『聖霊が彼の上にとどまっておられた。』そして、聖書は言います。

**また、主のキリストを見るまでは、決して死なないと、聖霊のお告げを受けていた。(ルカ2章26節)**

主メシア、救世主、メシア。そして…、

彼が御霊に感じて宮にはいると、幼子イエスを連れた両親が、その子のために律法の慣習を守るために、入って来た。(ルカ2章27節)

イエスはユダヤ人として生まれましたから。彼はパレスチナ人ではなかった。ローマ・カトリック教徒ではなかった。ギリシャ正教でもなかった。イスラム教徒ではなかった。彼はユダ族のユダヤ人以外の何者でもありませんでした。聖書は告げます。

律法の慣習を守るために入って来た。すると、シメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。『主よ。今こそあなたは、あなたのしもべをみことばどおり、安らかに去らせてくださいます。私の目があなたの御救いを見たからです。(ルカ2章27節から30節)

私の目が見た…。この赤ん坊が、実際の救いになる。

私の目があなたの御救いを見たからです。(ルカ2章30節)

御救いはあなたが万民の前に備えられたもので、異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの光栄です  
(ルカ2章31節から32節)

それが、主です。

父と母は、幼子についていろいろ語られる事に驚いた。また、シメオンは両親を祝福し、母マリヤに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人々が倒れ、また、立ち上がるために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。(ルカ2章33節から34節)

皆さん、時は定められています。パニックになる必要はない。怒る必要もない。私たちはイライラする必要はありません。私たちは待つ必要があります。「まやかしを言っていない」(ハバクク2章3節)ですから。私たちはそれを待つ必要があります。「きっと来る」とハバククは言いました。だから、すべてが確実に起こるでしょう。皆さんを慰めたいと思います。私たちは忠実に、私たちのすべき事を行うのです。つまり、出て行って福音を宣べ伝える事。パウロが彼の人生の終わりに、第2テモテ4章で、テモテに書いた言葉が私の耳に鳴り響いています。パウロは、「走るべき道のりを走り終えた」と言いました。「私は勇敢に戦い、…信仰を守り通しました」と彼は言いました。パウロは簡単だとは言わなかった。すぐに終わるとも言わなかった。彼は素晴らしい事になるとは言わなかった。いいですか？これは競争です。そして、第1コリント9章では、彼は勝つために競争を走り、それを実行する方法について話しています。彼は、それが戦いであると言いました。そして、第1コリント9章では戦い方を言っています。ただ空を打つのではなく、勇敢に戦え。重要な戦いを戦い、信仰を保て、と。「信仰を守る」とは、待つことが大切です。信仰を守る。信仰を失ってはいけません。あきらめなないで。投げ出さないで。信仰を守りましょう。

この幻は、なお、定めの時のためである。それは終わりについて告げ、まやかしを言っていない。もしおそくなくても、それを待て。それは必ず来る。遅れる事はない。(ハバクク2章3節)

分かりますね？神は、決して嘘をつきません。だからこそ、第2ペテロ2章は、非常にハッキリと告げています。ある人たちは神が遅らせていると考えますが、聖書は言います。

主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。(第2ペテロ3章9節)

それが神の御心です。だから私はカルヴァン派であれ、贖いに限界があると考え、そして神が人々を地獄に送り、地獄行きを運命づけることを喜んでおられると考えることは、聖書にそぐわないだけでなく、私たちが知っている神に当てはまりません。もちろん神は、神の予知能力の中で、だれが選び、だれが拒絶するのかを知っておられます。それは別の話で、ただ神の御心は、全てが悔い改め、もちろん滅びないことです。彼は、それを望んでおられません。エゼキエル書には「神は人の死を決して喜ばない」とあり、申命記には、「命を選びなさい」と書かれています。それが私たちが仕える神、命の神です。彼は死人ではなく、生ける者の神です。イエスが復活についてサドカイ人に話した時に言われたように。

ということで、私が結論づけたいのは、「待て」です。それは待つ価値があり、それはあなたが思っているよりも早く来ます。シメオンは、その日が来るとは想像していなかったが、それでも彼はそれを待っていたのです。そして、もちろん、彼は救いを抱いていました。「私の目は救いを見た」救いがある時、救いを見る必要はありません。

主は2000年前に来て、終わりがどうなるか、兆候の全リストを私たちに与えてくれました。ルカ21章と、マタイ24章から、それらのものひとつひとつ。そして、オリーブ山の垂訓、偽の救世主、にせ教師、それらすべてです。フィリピンには「神の子」と名のる男性がいることをご存じですか？彼には100万人以上のフォロワーがいることを知っていましたか？彼は文字通り、昨日、私たちのカンファレンスがあった場所から1マイル(1.6km)離れた場所にいました。そして人々は彼について行きます。偽の救世主がいて、にせ教師がいます。これらの者たちに、イエスは「私はあなたを知らない」と言われたのです。彼らは、彼（イエス・キリスト）の名前で多くのことを行いますが、主は、彼らを知りません。そして、「背教」です。背教。キリスト教徒の背教を周りで見えています。それから私たちは戦争も見えています。私たちはそれについて話しました。戦争や戦争のうわさ、火山が噴火しています。先週噴火した火山は、72時間以内に3つ、1週間以内に25。21日の間に75の火山噴火です。前代未聞です。とても多くの噴火と地震がほぼ毎日起こっています。私は、そのすべてを監視しています。信じられないことが世界中で起こっています。そして、私たちは警告されました。これは、ほんの始まりに過ぎないと言われています。私たちは言われています。これは、終わりの時の様子の一部だ、と。私たちが知らないわけではなく、私たちは聞いたこともないというわけではありません。私たちは言われ、警告を受けました。しかし、それが起こると私たちはとてもパニックになり、物事の視点を失ってしまいます。「それを待ちなさい。必ず来る」（ハバクク2章3節）大切です。

ということで、私たちの目の前にエキサイティングなことがたくさん待っていることをお知らせして、これを締めくくりたいと思います。私たちのYouTubeチャンネル、Behold Israelをご覧ください。フェイスブック、Behold Israel；インスタグラムは、一言、BeholdIsrael そして、ツイッター。私は毎日のニュースも、Behold Israelでツイートしています。繰り返しますが、ギリシャのクルーズを含む2020年のツアーの一部に空きが残っています。私が引率して、パウロの足跡をたどります。また、ヤングアダルトツアーにも、少し空きが残っています。そして皆さんの大学生のお子さんを、人生を変える経験に送り出されることを強くお勧めします。もしかすると、そこで彼らの人生を共に過ごす配偶者を見つけるかもしれません。

では、アロンの祝福で、このアップデートを終了しましょう。

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。**

**主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。**

**主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。**

**(民数記6章24節から26節/ヘブル語)**

**主があなたを祝福し、あなたを守られますように。**

**主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。**

**主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。**

**(民数記6章24節から26節/英語)**

平和の主である平和の君、イエシュアにしか与えることができない平和、シャローム。今も永遠に、ここでも、どこでも、場所や時間に制限されることなく、あなたに平和を与えることが、おできになります。主の御名で祈ります。  
アーメン。

アーメン。

皆さんに、もう一度お伝えします。私は今、カリフォルニアに行く途中です。バリー牧師は、すでに飛行機に乗っています。彼は、後2、3時間でLAに着陸です。私は明日、シンガポール経由で発ちます。どうぞ、私たちのために祈りください。素晴らしいカンファレンスを行います。すべてが、すでに売り切れです。カンファレンスは、His Channelで生中継されますので、必ず見てください。ジャック・ヒブス牧師、ジャン・マーケルさん、バリー・スタグナー牧師、そして、私がスピーカーです。素晴らしいイベントになるでしょう。来週の土曜日、カルバリーチャペル・イーストアナハイムで開催予定です。それが場所で、カンファレンスは、バリー・スタグナー牧師とカルバリーチャペル・タスティン主催です。その数日前には、私とジャン・マーケルさんとで、His Channelに出演して、聖書の預言に照らして、世界の出来事について話します。多くのことが起こっています。

いろいろありがとうございました。私たちをフォローし、私たちを支え、祈り、私たちと友達になってくださり、ありがとうございます。暗い時代が来ています。しかし、私たちは素晴らしい希望を持っています。定められた時があります。私たちは、ただ待つことを覚えなくてはなりません。

ありがとうございます。

God bless you !

フィリピンのマニラからシャローム。

さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.01.26 (Sun)